

はまもりかおり

区政レポート 第3号

発行日：2025年4月吉日 発行責任者 みんなでつくる私たちのちよだ
連絡： kaori.hamamori@gmail.com 070-2654-3920

●このニュースは公選法に基づき、有権者名簿を閲覧して送らせていただきました。



区長選出馬の経緯・結果

この度は大変多くの方に応援をいただき、本当にありがとうございました。

出馬に際し「なぜ無謀な挑戦をするのか？」とよく問われましたが、現状を黙って見ているわけにはいきませんでした。官製談合事件に象徴される密室政治、事実を明らかにしない隠蔽体質を変えたい。まちの将来像をみんなで描き、もっと区民の声が届く政治にしたいと思ったのです。

結果は三位でしたが、「出てくれてよかった」「問題を初めて知った」という声をいただき、共感してくださる仲間の輪も広がりました。今回の挑戦は未来への通過点です。

二年後の区議選に向けて、地域政党の立ち上げも視野に入れて動いていきます。一緒に動いてくださる方（候補者、チラシポスティング、勉強会の企画・運営など）大募集中です！下の動画もご覧ください。

会社に戻って、「問題解決」の現場へ

●三月から元の会社に復帰し、本社の企画部門で働いています。以前は人材育成を担当していましたが、今回は商品の販売拡大に向けた施策立案や、不具合などのトラブル対応「問題解決」も任されています。

●約二年ぶりに戻った職場では、「ファクト（事実）」に基づく意思決定「データ・ドリブン経営」がさらに進化していました。政治でも同様に「エビデンス（根拠）・ベースト・ポリシーメイキング（EBPM）」が求められています。（下「図1」参照）

区政も「根拠に基づく判断」を

区政は企業と違い、「効率」だけでは測れません。「公共の福祉」を守るという視点が不可欠です。しかし、それでも「なぜそれが必要か」「誰のための予算か」を、根拠をもって説明することは、納得と信頼のある政治の実現に欠かせません。今後は二年間の区議会議員としての経験を活かし、一千代田区民として、行政と議会をチェックし、みなさんへお伝えして参ります。

区議選後の近況報告を
動画にまとめました。



はまもり かおり
2025年4月 区政報告

千代田区 2025 年度の予算案をチェック！

検証結果

行政からの提案にはデータや事実、証拠の観点から見直しが必要

① ひとりあたり5千円配布（補正予算）

- なぜ現金給付ではなく、配布コストの高いプリペイドカードの支給となったのか？
- 配布にかかる経費は1.5億円（当施策予算4.9億円の約1/3を占める）

② 中高生世帯に月1.5万円給付（新年度予算）

- なぜ対象を中高生世帯に限定した？
- 根拠データが不明確でした。

③ 契約情報の開示が後退

- 検索しにくいと指摘したらPDFをやめて検索ツールのみに？（下「図1」を参照）
- 契約の透明性を高めるため、一覧化およびグラフによる見える化を提案します。

千代田区一般会計
過去最大

約 **754 億** 円！

区民1人あたりに換算：

109万5,000円

活動成果

区長選および本会議や予算要望にて提案してきた政策が反映されました。

- ✓物価高騰対策
- ✓教材費の全額補助
- ✓こどもの意見を聞くしくみ
- ✓居場所づくり
- ✓町会支援
- ✓リノベーションまちづくり

以上が予算に盛り込まれました。

活動姿勢

これからが本番！

大事なものは「名目」ではなく中身と実行。施策が本来の目的に合っているか、効果があるかをチェックしていきます。

【図1】

【現状】23区提供の検索ツール

【改善イメージ】一覧化／可視化



一目でわかり加工しやすい一覧化や、グラフ等による可視化を提案します。

予算委員会では「ちよだの声」会派の小枝議員をはじめ、複数の議員が指摘をしましたが、修正はなし。国では29年ぶりに予算が修正されました。千代田区でも議会側の発言権を強めることが課題です。

フジテレビ問題との共通点は “対応の不適切さ” “組織的な関与”

■ 「プライベートな問題」だったのか？

フジテレビの事件では、当初「男女間のプライベートなトラブル」として扱われ、被害者の人権侵害や組織としての責任が見過ごされていました。実際には、業務の延長線上で起きた出来事であり、組織的な関与があったにもかかわらず、上層部は責任を取ろうとしませんでした。

この構図は、千代田区の官製談合事件にも通じます。公益通報者であり、結果的に逮捕された元部長の人権は軽視され、判決文にあった組織的な関与、（元副区長の指示・命令）も、区の報告書では「関与は確認できなかった」と結論づけられました。

区は、「書類送検されていないから関与はなかった」と繰り返し答弁しています。しかし、時効などもあり、刑法上の罪に問われないからといって、組織的な関与が否定されるものではありません。

■ 決定的な証拠で「組織的関与」が判明

私はこの事件の調査・再発防止の検討委員として、個人でも「刑事確定記録（供述書など）」の閲覧申請を行っていました。しかし、閲覧許可が出たのは区長選の翌日。そこで、同委員の岩田区議が閲覧し、**元副区長について以下の事実が明らかになりました。**

- ✓元副区長が平成29年から元区議と密会
- ✓元区議へ自ら「非公開情報」を提供
- ✓元部長に対し“指示・報告”のやり取り

更に、事件発覚後、区の職員が有罪判決を受けた元区議に弁護士を紹介していたことが判明しています。（音声記録あり）

これらの事実は、組織的関与を裏付けるものです。元部長は、元副区長と元議員の馴れ合いの中で犠牲になったとも言えます。この構造を放置すれば、同じことが繰り返されます。区民の財産、そして職員の命に関わる問題です。

■ 区長の抗議に、有識者が異議

本会議で「刑事確定記録」をもとに一般質問を行った岩田区議に対し、区長は「恣意的な使用で人権侵害の疑いがある」と抗議しました。これに対し、東京新聞の取材に応じた有識者は次のように述べています。

龍谷大学名誉教授・福島至氏：

「違法性はなく、記録を使った検証は議員として当然の活動」

元総務大臣・片山善博氏：

「上司の指示で漏えいしたのなら、処分的前提が違い、区は元部長に対し重大な人権侵害を続けていることになる。本来は区長が率先して真相を解明すべきだ。」

不当に高い契約を招いた当事件について、真相解明しない場合、区は財産管理の義務違反となる可能性があります。今後は、強大な権限を持つ区長の姿勢が問われています。

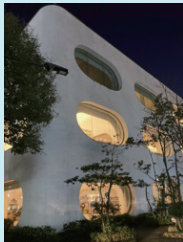
< 比較表 >		フジテレビ	千代田区
調査・対応に雲泥の差→ 組織的関与と初動の悪さは同じでも、その後の	組織的関与	幹部社員と経営層が、女子アナを接待要員とすることを黙認・関与	元副区長と元議員の癒着、元副区長と歴代部長の権力勾配による情報漏洩
	初期対応	プライベートな男女間のトラブルに矮小化	個人間、議員のパワハラ問題に矮小化
	調査・証拠	① 第三者委員会の調査 ② LINE メッセージ	① 有識者会議の調査 ※第三者委員会を設置せず ② 刑事確定記録（供述書）※区は②を認めず
	人権への配慮	被害者の人権侵害を認定	元部長の人権問題は棚上げ

訪問
レポート

1 中高生・若者の居場所づくり：
～武蔵野プレイスを視察～

居場所づくりの先進例として注目される武蔵野プレイス(JR武蔵境駅徒歩2分)を視察してきました。

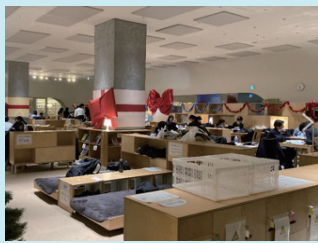
- 10代の利用率は20%後半
20代まで含めると40%！
公共施設としては若い世代の利用が多いのが特徴です。



武蔵野プレイス外観

- 地下2階は19歳までの専用スペース

おしゃべりや飲食可能。
学びも遊びもOKな自由な雰囲気でした。千代田区にも必要！



地下2階ティーンズスタジオの様子

2 今の教育に必要なものは：
～元麹町中学校長・工藤勇一先生講演会参加～

3月8日、元麹町中学校校長・工藤勇一先生の講演に参加しました。今の教育に必要なのは「主体性」「考える力」「対話力」。教育の目的は「幸福で自律した人生を生きる力」を育てること。強く共感しました。

工藤先生が監修されたドラマ『御上先生』には、こんな言葉も出てきます。「個人的なことは、政治的なこと（パーソナル・イズ・ポリティカル）」。

介護や育児、孤独や貧困などの“生きづらさ”は、個人の問題ではなく社会のしくみや政治の課題であるという意味です。あなたの困りごとみんなの課題として、一緒に解決しましょう。



チャンネル登録
お願い致します！



はまもりかおり
SNS・HPは
こちら
ご意見お待ちしております！

